

植込型 VAD(非拍動型)の植込の適応について

基本原則：INTERMACS profile level 2-3 の重症心不全患者を対象とする。

① 心臓移植実施施設

当該心臓移植実施施設内適応検討委員会で適応と認められた後、速やかに日本循環器学会（日循）に心臓移植適応評価申請書を提出し、適応評価を受けてから植込型 VAD の植込を実施する。

ただし、日循から移植適応の承認を得る前に INTERMACS Profile 2 となった場合、救命のため日循の適応承認を待たず VAD の植込を優先することが可能である。その場合手術後 1 ヶ月以内に日循に植込実施と事情を書面（適応承認前に緊急で植込型 VAD を装着した患者の事後検証専用シート）で報告すること。日循は事後検証を行う。なお、心臓移植適応評価申請書は VAD 植込実施以前に提出されなければならない。

また、心臓移植実施施設であっても 2 年間に 3 例以上の植込型 VAD の経験がない場合は、その経験が多い心臓移植実施施設と相談し、その承認を文書で得た後に VAD を植込むこととする。

② 非心臓移植実施施設

連携心臓移植実施施設の承認を絶対必要条件とする

施設内心臓移植適応検討委員会で適応と認められた後に、連携する心臓移植実施施設と十分な症例検討を行い、連携する心臓移植実施施設の承認を得ること（連携する心臓移植実施施設の議事録必須）。この後、速やかに、日循心臓移植適応評価申請書を提出し、適応承認を受けてから植込型 VAD の植込を実施する。

ただし、日循に移植適応評価承認前に INTERMACS Profile 2 となった場合、救命のため日循の適応承認を待たず VAD の植込を優先することが可能である。その場合手術後 1 ヶ月以内に日循に植込実施と事情を書面（適応承認前に緊急で植込型 VAD を装着した患者の事後検証専用シート）で報告すること。日循は事後検証を行う。なお、心臓移植適応評価申請書は VAD 植込実施以前に提出されなければならない。

また、自施設で 2 年間に 3 例以上の植込型 VAD の経験がない場合、経験の多い連携心臓移植実施施設の参加の下に VAD を植込むこととする。

以上

2016 年 3 月 17 日改定

植込型VAD(非拍動型)の 植込の適応とその手順について

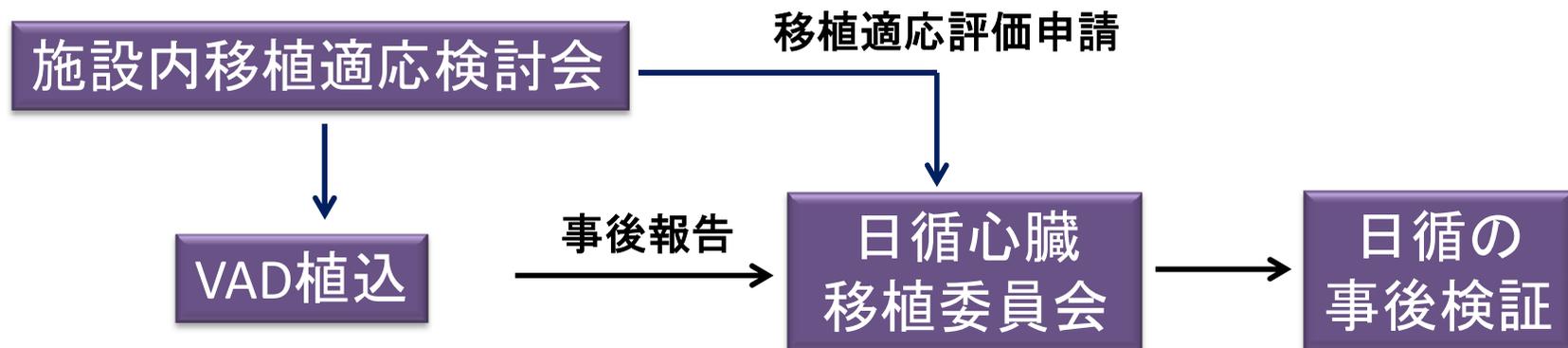
一般社団法人 日本循環器学会
心臓移植委員会

①心臓移植実施施設

1. 基本原則: (INTERMACS Profile 2-3)



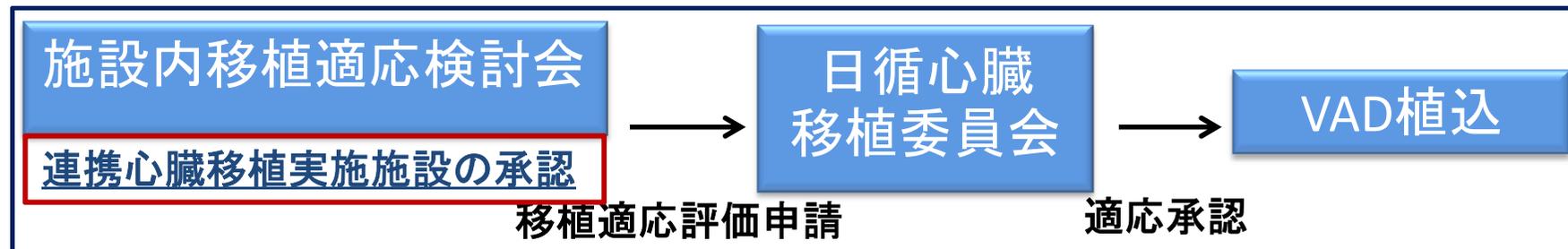
2. 救命のため緊急性がある場合: (INTERMACS Profile 2)



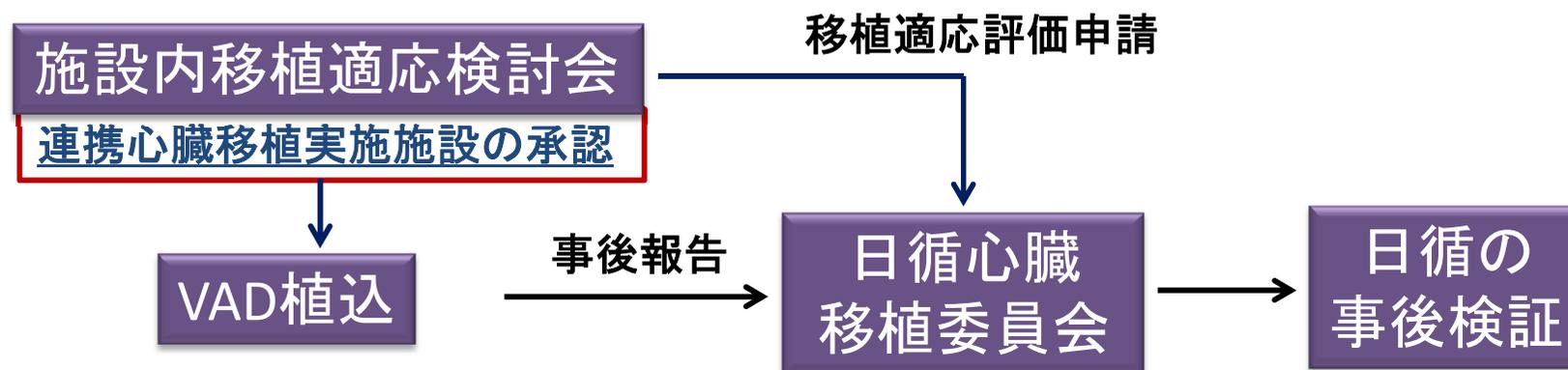
- * 日循での移植適応承認が得られる前にINTERMACS Profile 2となった場合、救命のため日循の適応承認を待たずVADの植込を優先、事後1ヵ月以内に日循に書面で報告。日循は事後検証を行う。
- * 2年間に3例以上の植込型VADの経験がない場合、経験の多い心臓移植実施施設と相談し、その承認を文書で得た後にVADを植込むこと。

②非心臓移植実施施設

1. 基本原則: (INTERMACS Profile 2-3)



2. 救命のため緊急性がある場合: (INTERMACS Profile 2)



- * 日循での移植適応承認が得られる前にINTERMACS Profile 2となった場合、救命のため日循の適応承認を待たず、連携心臓移植実施施設に相談し文書で承認を得た後、VADの植込を優先、**事後1ヵ月以内に日循に書面で報告**。日循は事後検証を行う。
- * **2年間に3例以上の植込型VADの経験がない場合、経験の多い連携心臓移植実施施設の参加の下にVADを植込むこと。**